

審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会議の名称	令和3年度第2回図書館協議会		
開催日時	令和4年3月23日（水） 午後6時30分～7時10分		
開催場所	茅野市図書館 閲覧室		
出席者	矢崎智義委員長、岩崎和子副委員長、田村満理委員、原猛委員、両角薫委員、細川美歩子委員、平澤洋子委員、山田教育長、北沢生涯学習部長、田中生涯学習課長、五味図書館長、両角図書館係長		
欠席者	三代沢正委員、百瀬るみ委員、小口かおり委員、戸田茂生委員、牛山まきみ委員		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容		
教育長	<p>1 開会（生涯学習課長）</p> <p>2 教育長あいさつ お集まりいただきありがとうございます。今日の会議事項ですが、図書館運営状況、それから図書館機能のあり方等になります。 一番の目的は、今はウィズコロナですが、アフターコロナに向かってどういうものを作っていくか、それが大きな課題になってくると思います。子どもたちの状況ですが、4月7日に新学期が始まりますが、そこに向かってどうしていくかというような状況だと思います。今はウィズコロナですが必ずアフターコロナに向かっていきますので、困ったら図書館という意見もありましたが、地域の人たち、働く人たちが何か困ったら図書館に行けば解決策のヒントが見つけれられると思えるような図書館にしていきたいなと思います。</p>		
生涯学習課長	<p>3 審議会の公開について それでは次第に沿って進めて参ります。次第3の審議会の公開について、事務局から説明をお願いします。</p>		
図書館係長	<p>（資料1により、審議会等の公開について事務局から説明）</p> <p>（特に異議はなく、本日の会議について公開とすることを決定）</p> <p>（事務局から、会議の出席状況と傍聴者について報告）</p>		
委員長	<p>（1）令和3年度図書館運営状況について 会議事項に移りたいと思います。「令和3年度図書館運営状況について」ということで、五味館長お願いいたします。</p>		
図書館長	<p>（資料2・3について、図書館長から説明を行う）</p>		

委員長	ありがとうございました。ご意見、ご質問はありますか。
委員	<p>お話を聞かせていただきながら、本校の様子と比べてみると、コロナ禍で子ども達が図書館で過ごす、その過ごし方も規制がたくさんありましたが、3月に図書館を閉館した後貸出数を比べてみると、昨年度に比べて1人当たりの貸出数が10数冊くらい増えていました。コロナ禍で家に居なければいけない時に、本に親しむ機会があるのかなというようなことを感じています。</p> <p>昨年度はできなかった、先生方による読み聞かせや子ども同士の読み聞かせも時期を選んでやることができたりだとか、私の学校に来てくださっているボランティアさんの読み聞かせも、本来なら9回あるものが数は半数になってしまいましたが、読書週間中もスペシャルおはなし会ということでいろいろ工夫してやっていただけたりだとか、先程館長さんがおすすめ本を紹介すると貸出数が伸びるというお話をされていましたが、本校でも同じで、新刊本が入ったり、先生や友達からの紹介があったりすると手に取って読む子どもたちが増えるので、そんなところはとてもいいと感じました。</p>
委員	<p>学校の状況を今お話いただいたように、私の小学校でも今年度は調べ学習に関しては、学校長のリーダーシップのもとで大変多くの児童が取り組んだという成果がありました。内容については幅がありますが、取り組む姿勢、それから取り組む児童が増えたことは今後に関がっていくことかなと思っています。</p> <p>資料についても、茅野市図書館で借りる場合も多くありまして、児童が多い分そして取り組む児童が多い分どうしても資料が不足してくるので、そういう点では茅野市図書館本館でたくさんお借りすることができていつも助かっております。</p> <p>分室についても、本館にすぐ伺えない時、検索をして分室にあれば分室を使わせていただくこともできるので各学校の近くに分室があることはとてもありがたいことだなと今年度も思いました。</p> <p>調べ学習については茅野市が力を入れて取り組んできて、学校で積み重ねもできてきたので、今度は内容がより充実していけばいいなと思っています。</p>
委員長	調べ学習で分室を使えますか。
委員	資料が不足している場合は、検索をして該当する資料があれば分室に借りに行くということもありました。
委員	<p>私たちの団体の読り一むinちのも今年こそは図書館と連携していろいろな行事をやろうというふうに思っていたのですが、やはりコロナには勝てなくて何もできなかったという状況でしたので、来年こそはと期待しております。コロナの中での図書館の使い方の制限については、例えば2階の郷土資料コーナーには立ち入りもできないというような状況もありましたが今後コロナでどこまでが可能かというところも手探りしながら、使い勝手のこともありますので検討していただけたらなと思います。</p>

委員	<p>団体貸出についてですが、茅野市の図書館は2か月間貸していただけるので、非常に便利に使わせてもらっています。というのは、ある図書館で団体貸出が厳しくてトラブルになったという事例がありましたので団体貸出については、ほとんどの図書館で借りられるように、また期限を今のよう2か月くらいにしていなければありがたいと思います。</p> <p>質問があります。11ページの(2)の3段目と4段目ですが、令和4年度からの信濃毎日新聞データベースと国立国会図書館デジタルコレクションについて、これは、利用者が自分で操作して利用することができるのでしょうか。それとも図書館職員を介して利用するものなのか教えていただけるとありがたいのですが。</p>
図書館係長	<p>11ページにあります来年度導入の電子サービスの関係ですが、まず信濃毎日新聞データベース、それから国立国会図書館デジタルコレクションの参加館限定送信サービスについては1階の一般コーナーの公共端末を利用できるようにしていく予定ですので、利用者さんが図書館でログイン操作を行った後は、利用者さん自身が端末を使って自由に見ることができます。ただし、印刷については申し込みをしていただき、図書館職員が著作権法を確認した上で印刷をして、コピー代と同じ料金をいただいたうえでお渡しするということになっています。</p>
委員	<p>ありがとうございました。もし可能でしたら、信濃毎日新聞データベースと国立国会図書館デジタルコレクションの操作方法の一般公開、講座のようなことをやっていただけたら皆さん利用できるのではないかと思いますので、講座を開講していただければありがたいと思います。</p>
図書館長	<p>こちらにつきましてはまだ中身について検討している段階で4月に入れられるかどうかははっきりしていないのですが、周知をして、図書館職員もしっかり確認をした上で、それが終わったら導入という形で考えていきたいと思っています。今まで2年、3年かけて要望したり、計画したり、それから県と交渉したりということを経てやっと実現にこぎつきましたので、ぜひ皆さんにご利用いただければと思っています。</p>
委員	<p>コロナ禍ということで、本当に学校に出向くことができなくて、生徒たちの雰囲気もよくわからないし、図書館の方へ応援で入ることもできない状態が2年続いています。様子がわからないので適切なお話とか意見とかができないのですが、一番気になったのが利用統計のところですが、コロナ禍ということで、皆さんおうちにいる時間が多くなっていると思います。私も普段本を読まないのですがコロナということで本を手にすることが多くなったので、市民の方もそうなのかなと思って利用統計を見させていただいたのですが、必ずしもそうではないのだなと思いました。分室の利用を見ますと、必ずしもどこの分室でも増えている訳ではないのがわかりまして、これには何か理由があるのでしょうか。</p>
図書館係長	<p>本館についてはできる限り開館をしていくという方針で今年度は頑張りました。本館については様々な制限はさせていただきましたが、閉館をせずここまで何とか頑張って運営してきました。ただ、分室についてはお部</p>

	<p>屋が狭いということもありまして、9月の県による命と暮らしを守る月間の時と、それから1月末から3月の上旬までのまん延防止等重点措置の期間についてはいずれも休館となりました。そのようなことから昨年よりもさらに数字が落ちてしまっているというのが現状になっています。市民館図書室についてはコロナが始まってから開館時間を前後に1時間ずつ短縮をした状態が続いていることと、サービス制限もしながら開館しているということもあり、昨年より数字が落ちてしまっているという状況です。</p> <p>資料の14ページをご覧くださいと思いますが、本館については令和元年度コロナ前、それから令和3年度コロナ後についての比較の表がありますが、令和元年度と比べて令和3年度については、貸出冊数はほぼ98%まで回復しました。本館については平日の開館時間を30分短くして開館しておりますが、ほぼ98%まで回復を見せています。あとはインターネットでの予約がかなり増えています。希望資料予約数というところになります。令和3年度については令和元年度と比べて20%インターネットを中心に予約数が伸びています。</p> <p>それから他館からの相互貸借についても当館から貸し出しているもの、また他館から借りているものの両方について、令和3年度は令和元年度よりも貸出が35%、借入が15%程度の伸びを見せていますので、そういう点では本のやりとり、各館での予約を中心としたやりとりについては令和元年度よりもかなり増えているという部分もあり、それぞれの図書館で頑張っている成果がそこに表れていると考えています。</p>
委員	<p>2月のコロナによる利用制限の時ですが、私の学校の先生と生徒が茅野市の図書館の利用制限の対応がとても良かったと言っていました。というのは、他の図書館は完全閉館か、予約して窓口で本を受け渡しするという方式だったと思います。にもかかわらず茅野市の図書館は30分でも自由に本棚を見させてくれたと言って生徒が喜んでいました。</p> <p>それは私の学校の校長もコロナ禍にあって本来図書館はそうあるべきであり、閉館とか窓口の受け渡しはないのではないかとことを言っていたので、一言申し添えさせていただきます。ありがとうございました。</p>
生涯学習課長	<p>ありがとうございます。図書館職員にとっても励みになります。</p> <p>茅野市の図書館は本年度コロナ禍でも、まずはどうすれば継続していけるか、休館にしないでやっていけるかということを中心に考えてやってきました。厳しい規制がある中でしたが館長、係長を中心に最善の方法を考えて、30分だけでも利用する方が本を選ぶ時間をとって、開館を継続してきました。いろいろなご意見がありましたが、何とか無事にやってこれましたので委員の皆さんからそのようなお言葉をいただくと、職員も大変喜んでお思います。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>先程お話がありました、貸出冊数は増えているけれど入館者数は減っているということについてですが、そうすると1人当たりの貸出冊数が増えているということになりますか。</p>
図書館係長	<p>入館者の数について、令和元年度と比較して令和2年度が56%と落ち込んだ理由は1か月半休館していたことが影響しています。また、令和3</p>

委員長	<p>年度は72.8%と入館者数は落ちていますが、貸出は98%まで回復しています。これは、学習スペースの利用をレベルによって再開したり、閉鎖したり、また再開したとしても1つの机に1人というように限定したことや閲覧制限を行ったことにより、普段本を借りずに図書館を利用されている方たちの利用が落ちていることが、入館者が減ってしまった原因ではないかと考えています。本を借りる方については予約も増えているということで令和元年並みに推移をしています。ただしそれ以外の用途の利用者の方が少し減ってしまったのではないかと考えています。</p>
図書館係長	<p>デジタル化の話が出ましたが6市町村一緒にやるわけですよ。そうすると使い勝手も6市町村同じなのでしょうか。例えば私が他の市町村に行っても同じようにできますか。</p> <p>デジタル化するものが来年3つありますが、まず1番最初の県と市町村の協働による電子図書館については現在県と市町村のワーキンググループチームの方で細かい内容を最終的に詰めています。これについては自宅で本を見ることが出来るということですのでどこでも同じ条件になるものです。</p> <p>2番目の信濃毎日新聞データベースについては各図書館でご覧いただくようになります。下諏訪町立図書館が先行して導入をしていましたが、令和4年度からはそれ以外の5館も含め全6館の図書館で導入となります。ただ、例えば30分以内でお願いしますとか1時間以内でお願いしますというような細かなルールについては各館で独自に定めるものになりますので、館によって微妙な違いはあるかもしれません。</p> <p>3番目の国立国会図書館デジタルコレクションについては、その館で利用登録している方が利用できるという国立国会図書館側からの条件があり利用登録のある方でないと見ることができません。こちらは登録者限定のサービスということになります。</p>
委員長	<p>例えば他の市町村から来た人もここで使えますか。</p>
図書館係長	<p>茅野市図書館の利用登録ができる方が対象です。諏訪地域にお住まいの方、または茅野市に別荘等お持ちの方でしたらご利用いただけるということになります。</p>
委員長	<p>先程団体貸出の話がありましたが、団体貸出という制度をよく理解していないので概略のご説明をお願いします。</p>
図書館係長	<p>団体貸出は学校や学童クラブ、福祉施設、保育園等の団体について、団体名で登録をしていただくと、通常の場合10冊3週間までの貸出のところ、団体の場合は100冊2か月まで貸出できるというものになります。新刊については借りられないなどいくつかの制限はありますが、図書をまとめて長期間貸し出して、その団体の中で読んだり貸りたりしていただける制度です。</p> <p>この団体貸出についても、コロナ禍で団体貸出団体数と団体貸出冊数とも令和3年度は令和元年度より1割程度伸びています。ウィズコロナ、ス</p>

	<p>テイホームなのか、外出できないから本を見てもらおうということがあったのかははっきりとした理由はわかりませんがこちらも伸びている状況になっています。</p>
委員長	<p>団体に制限はありますか。</p>
図書館係長	<p>茅野市にある団体になります。</p>
委員長	<p>例えば普通の会社でもいいのですか。</p>
図書館係長	<p>はい。会社でも大丈夫です。 この間はホテルの方がご登録いただいて、ホテルの利用者さんというようにありました。本を管理していただけるという条件を守っていただければ茅野市の団体であれば登録をさせていただいています。</p>
委員長	<p>100冊も2か月貸し出すと支障が出ませんか。</p>
図書館係長	<p>新刊は貸出ができないとか、紙芝居は10点まで、予約があった場合は返却していただくとか、そういう制限のあることを理解していただいた上で貸出をしています。</p>
委員長	<p>よくわかりました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>今いろいろお聞きしていて、状況が少しずつわかってきましたが、先程学校の図書館の話も出ていましたが、今子どもたちはどんな本を読んでいるのだろうというのがとても気になってきました。小さな子どもたちは家に居る時間が長くなってくるとどうしてもゲームとかテレビとか、そういうものに依存している時間が長くなると思いますが、その分だけ大人の感覚に早く触れていく今の生活だと思えます。その中で、子どもの頃に読んだ本というのは生涯その子をどこかで支えていってくれるのではないかという思いがあります。大きくなってから大人がどんなに説教したりとがめるよりも、小さな頃読んだ説話とか寓話だとかが、その子の中で反復してきて、良し悪しを自分の中で判断する力になってくれると思うのです。だから保育園とか小学校の低学年の時になるべく多く影響を与えてくれる本に触れて欲しいと思います。</p> <p>高学年になりますと今度は実用書だとか、調べ学習もあるので、そういった本ばかりになりやすいのですが、別の人生を体感するということがとても大事な時期になってくるので、フィクションを読んで欲しいなと思えます。でもそれはやはり誰かから勧められないとなかなか取りつかないものなので、学校図書館の司書の先生方にはどんどんそういう本を勧めていただきたいと思います。そして、今は学校で借りた本や図書館で借りた本を家で読むことが多くなってきますけれども、子ども同士というのは借りた本の内容のことを友達と話し合うことで、読書意欲が湧いたり、共感してもらうことで自分の感じたものを素直にそうだったんだと受け入れることができるので、子どもたちが今どんな本を読んでいるのかということをお大人は時々チェックするというか、後押しをしてやれるような、そんな</p>

教育長	<p>な図書館になっていったらいいなと思いました。</p> <p>それから、私は最近実用書ばかり借りていましたが、だんだん歳を重ねますと目が小さな字を追えなくなってくるので、パソコンで青空図書館の朗読を聞いていますが、朗読もなかなかいいものです。私は冬の間ずっと刺繍をやっていたのですが、刺繍をやりながらずっとその朗読を聞いているんです。図書館の中の読書の1つとして、こういう読書の仕方もあるんだな。いろんな読書体験、読書の方法というものを、図書館から皆さんにお勧めできるといいのではないかと思っていました。</p> <p>今、子どもにとっての読書という話をされたのですが、私の長男に最初に買ってあげた本が「はらぺこあおむし」という本でした。孫が生まれて住んでいる所でもファーストブックをくださると知って、息子が私に何の本が良いか聞いてきたものですから「お前にははらぺこあおむしを読んでたよ」と答えたらはらぺこあおむしをもらってきて、また孫に読んでやっていました。もう30過ぎた息子ですがやはりあの感動をずっと覚えているようです。</p> <p>先程のお話ですが、学校図書館の貸出数はむしろ増えています。ただしレベル5の状況では、県立学校のガイドラインで外部の人に入ってもらえないため、なかなか様子が見えなくなっていると思います。今年コロナが落ち着いていたのは9月、10月あたりで、11月あたりは感染の状況が悪くなっていましたが、むしろ子どもたちの貸出相談や貸出数が増えています。先程の低学年の子どものお話に繋がってくるのですが言葉と心を育てるようにお子さんをお母さんお父さんの膝の上に乗せて読んであげる大人の方が少し減ってしまっているように思います。それから高学年の子は先ほどおっしゃったようにコロナで友達同士で図書館にいてもおしゃべりができずに口を閉じましようと言われてしまう。給食の時も本の話が出来ない場所になってしまっている。それがすごく残念で何とか工夫をしていきたいなと思います。例えば図書館で今子どもたちがこんな本を読んでいますというコーナーを作るというのも方法かなと思っています。</p>
副委員長	<p>図書館で昔ハガキをお友達に出していましたよね。しゃべれない時にはちょっとしたカードのようにしてお友達に書いてお勧めの本の紹介を渡すという交流を昔はよくやったものです。</p>
教育長	<p>効果的だったのが給食を食べながら先生が生徒に何気なく話しかけて、友達に広がっていくというやり方で、この方法を推薦した先生もいるのですが、それがコロナでできなくなってしまいましたよね。</p> <p>言われたように実際はやっているけれども、そこに会話が必要だというのはあると思います。</p>
委員長	<p>(2) 図書館機能のあり方について それでは2番目の図書館機能のあり方について、お願いします。</p>
図書館長	<p>(資料4について図書館長から説明を行う)</p>

委員長	図書館の機能について、ご意見があればお願いします。
委員	入口の庇が少し短いので、雨の日に水が落ちてきて濡れてしまうため、もう少し長くしてもらえたらと思います。
委員長	<p>5 その他</p> <p>他にご質問ご意見ありますか。</p> <p>(特に意見なし)</p>
生涯学習課長	(事務局より人事異動のご報告)
生涯学習課長	<p>6 閉会</p> <p>若干遅れましたけれどもほぼ1時間ということで会議を閉じることになりました。皆さまご協力ありがとうございました。以上をもちまして令和3年度第2回茅野市図書館協議会を閉会といたします。本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">～午後7時10分 会議終了～</p>